



**目指す生徒像**

- 自信と思いやりの心を持ち、より豊かな集団の一員になろうとする生徒
- 適切な判断ができ、行動する生徒
- 目標を持ち、ねばりつよく、創意工夫して解決にあたる生徒

**中野市教育力向上プラン**

- 1 人・モノ・コトに関わりながら自分の未来を切り拓くたくましい子ども
- 2 大切にしたい3つの出会い  
「人」「音楽と本」「体験」

**学校教育目標**

学び合い、磨き合い、支え合い  
共に高め合う生徒の育成

**重点1  
安心して学び合える学習集団づくり**

- ・生徒と共につくる学習のルールやマナー
- ・自尊心や自己有用感を高める支援と一人ひとりの居場所づくり・相談体制の充実 (心の相談室、スクールカウンセラー)
- ・職員の情報共有によるチームとしての支援体制づくり
- ・道徳教育や人権教育の充実
- ・教師自ら人権感覚を磨くための研修や特別支援教育の視点を大切にされた教育の推進
- ・Q-U検査、人間関係づくりプログラムの実施
- ・携帯、インターネットマナーの啓蒙
- ・心を耕す朝の15分間読書の充実

**重点2  
確かな学力や体力の向上**

- 全校研究テーマ  
「関わり合いながら学びを深めていく授業はどうあったらよいか」
- (1) 授業改善の重点
    - ・手引きを生かした家庭学習の充実、改善
    - ・「学びを深める」姿の具体化と職員の共有
  - (2) 力がついたかの検証
    - ・全国学テ・学校自己評価の学習の取り組み状況数値
  - (3) 指導力向上に向けた研修
    - ・授業改善に向けた一人一公開授業の実践 (①5/25②9/5③11/1を中心に年間9回、全教科外部指導者要請)
    - ・教科会、学年会での授業参観の日常化

**地域・保護者との連携**

- ・地域家庭をつなぐ学年・学級・学校通信やHPの充実
- ・学校評価による指導の見返し
- ・ふるさとJOBセミナー、職場体験等を通じた地域との連携
- ・外部指導者、保護者と連携した部活動、適切で効果的な部活動のあり方の検討
- ・信州型コミュニティスクールとしての学校支援体制の構築

仲間と響かせ合う  
**歌声**

無音をめざした気づきの  
**清掃**

場と時に応じた  
**あいさつ**

**生活の三本柱  
特色ある教育活動**

**南宮ブロックでの小中連携**

- ～小学校での育ちを引継ぎ「つなぐ」視点を明確にした指導～
- ・キャリア教育：ふるさとJOBセミナー・職場体験を日々の学習に還す
- ・人権教育：差別に気づき、差別を許さず、友だちと共に差別をなくしていこうとする生徒
- ・自ら学ぶ子を目指した家庭学習
- ・蒼龍祭への参加
- ・小学6年生の体験入学

**学校・生徒の実態 ～平成27年度学校自己評価より～**

- 1 「挨拶 清掃 歌声」の更なる向上を目指し、教職員と生徒が目指す姿を共通認識しながら、取り組む必要がある。
- 2 「わかりやすく、メリハリのある授業」の中で、生徒同士が関わり合いながら、学びを深めていく授業を一層進めていく。
- 3 「家庭学習を見直そう」を配付して家庭学習の充実を促したり、「家庭学習強調月間」を設けたりして、学習内容の定着を図る。
- 4 成長期にある中学生の部活動のあり方を考え、どの生徒も達成感が持てる部活動を目指す。

**地域の特性・保護者の願い**

- 1 安心して子どもを送り出せる学校
- 2 学力や体力の向上
- 3 生徒の気持ちにより添った指導  
生徒一人ひとりのニーズに合った支援体制
- 4 ふるさと中野を知り、地域と共に育つ学校